



二元代表制への認識を問う / 部活動を目的とした越境通学 (フオーラム小平)



二元代表制について 市の認識を問う

質問 ①憲法に基づき地方自治体が二元代表制を取っている理由と目的について市長の認識は。

市長 ①地方公共団体の長と議会の議員とともに住民による選挙によって直接選ぶ二元代表制は、相互の牽制と調和によって公正な行政を確保することが期待されていると認識している。

②議員が市民の代表であるということを念頭に置き、議会と執行機関のそれぞれの役割を理

再び部活動を目的とした越境通学を可能にするために

質問 ①越境通学を可能にすることへの今後の検討状況は。

②部活動を理由とする指定学校の変更を認めない理由は。

教育長 ①現時点では検討は行っていない。

②通学の安全確保の面で課題があるほか、教育委員会では、学校、家庭、地域が連携し、互いを育て合い、子どもを支える教育という考えに基づき教育施策を進めていることから、現行の制度により運用していく。



新型コロナウイルス感染症爆発から市民を救う手だてを尽くせ (日本共産党小平市議員)



新型コロナウイルス感染症爆発から市民を救う手だてを尽くせ

質問 ①自宅療養者への支援として、市独自のコロナ相談窓口の設置や、往診や訪問看護など

在宅医療体制の強化、パルスオキシメーターの配付等の早急な対応を求めるが見解は。

②臨時の宿泊療養施設の確保と整備が家庭内感染や重症化を防ぐ重要施策と考えるが見解は。

③妊婦と同居家族をワクチン優先接種の対象にすべきでは。

④保育園や学童クラブに従事する職員をワクチン優先接種の対象にすべきと考えるが見解は。市長 ①市の人材や権限等から、



東部地域の諸課題について / がん検診を進めるために (市議会公明党)



東部地域の諸課題について

質問 ①鈴木町二郵便局前交差点南側の歩道の一部が狭いことについて早急な対応が必要では。

②狭山・境緑道の花小金井・小平駅間は通行量が多いが自転車の交通安全啓発等すべきでは。

市長 ①当該地付近の歩道は生け垣が繁茂し有効幅員を狭めている。今後、鈴木街道の管理者である東京都に相談していく。

②緑道の管理者の都に伝えていく。市も令和2年12月に小平駅周辺で小平警察署等と啓発活動等を行った。今後も小平警察署等と連携し啓発に努めていく。